

学習指導要領		都立大江戸高校 学カスタンダード
A 話すこと・聞くこと	<p>ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。</p> <p>イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。</p> <p>ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。</p> <p>エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>	<p>他者の意見を聞いたり読んだりする中で、話題の主旨を理解し、自分の考えをまとめ、根拠を明らかにした上で、自分の意見を話すことができる。 (人前での発言が困難な生徒には配慮する)</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読解学習において、教材文中から根拠となる箇所を明らかにし、自分の解答の理由を説明できる。 ・自分の考えを検討し、改善するために、他の生徒や教員の意見を参考にできる。 <p>目的や場にふさわしい言葉遣いや態度を身につけ、適切に話したり、的確に聞き取ったりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ学習などの発表において、目的や場に応じた、適切な言葉を選んで話すことができる。 ・教員や他の生徒の話を、注意深く聞くことができる。 <p>課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重して話し合うことができる。 (人前での発言が困難な生徒には配慮する)</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの話し合いなどで、自分と異なる意見にも耳を傾け、自分の考えに生かすことができる。 ・司会者などを立て、全体の進行を意識しながら話し合うことができる。 <p>自分の発表の仕方や、話し合いの仕方について振り返り、話し方や言葉遣いの見直しに役立てることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手や場に応じた語句の使い方、発表を聞く態度、発表の構成を振り返り、自己や他者の良い点・改善点を指摘することができる。

学習指導要領		都立大江戸高校 学カスタンダード
B 書 く こ と	<p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p> <p>イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。</p> <p>ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。</p> <p>エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>	<p>誰に向かって何のために書くのかを考え、文章の形態、文体や語句を工夫して書くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的に応じて、自身の体験や考え、読書などを通して得た知識を取捨選択することができる。 ・常態と敬体を区別し、どちらかに統一して書くことができる。 <p>自分の考えを明らかにし、論理の構成や展開の仕方を工夫して書くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠となる事柄を示しながら、論理的に展開された文章を書き、自分の立場や考えを明確にすることができる。 <p>説明と描写の違いを理解し、使い分けて自分の文章を書くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事実や事柄、方法を具体的に説明したり、手順や理由を論理的に説明することができる。 ・情景や人物、心情を読み手が想像しやすいように描くことができる。 <p>文学作品などの優れた表現に接して、条件を考えたり、書いた文章について見直したりして、自分の表現に役立てることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文学作品などにおける発想の豊かさや構成・展開の工夫、語句の使い方などの表現の特色を指摘し、自らの表現に役立てることができる。

学習指導要領		都立大江戸高校 学カスタンダード
C 読 む こ と	<p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。</p> <p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p> <p>エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。</p>	<p>文章の形態（評論・小説・随筆・韻文など）における表現の特色を意識しながら読むことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 比喩法（直喩・隠喩・擬人法）を理解し、文章中の比喩表現を指摘することができる。 ・ 反復や倒置などの修辞技法による効果を理解し、読解に役立てることができる。 ・ 『かぐや姫のおひたち』などで、歴史的仮名遣いに注意して音読することができる。 <p>文章の内容について、文脈をとらえて筆者の考えなどを読み取ったり要約したりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 筆者の主張と具体例を区別し、主張を中心に要約することができる。 <p>文章に描かれた登場人物を押さえ、心情の変化や情景描写をとらえて読むことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 『羅生門』などで、各場面における登場人物の言動や心情を読み取ることができる。 <p>論理的な文章の内容を構造的に理解し、内容や表現の仕方について考えたり、書き手の意図を的確にとらえたりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 段落分けなどの作業を通じて各段落の働きや段落同士の関係性を理解し、文章の展開を意識することができる。 ・ 具体例と意見を区別し、筆者の主張をとらえることができる。 <p>（なお、特に「C 読むこと」の分野に関しては、学習障害、発達遅滞また義務教育期間における未学習による学習の遅れなど、個別の状況に応じて配慮する）</p>

学習指導要領		都立大江戸高校 学カスタンダード
C 読 む こ と	オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。	<p>様々な形態・内容・分野の本や文章を読み、そこから得た情報を参照し、自分の考えの助けとすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材を通じて様々な形態（文学的・論理的・実用的な文章）や、幅広い内容・分野（芸術・社会科学・自然科学など）の本や文章を読むことができる。 ・読んだ本や文章から自分に必要な情報を読み取り利用することができる。 ・読んだ文章の感想を通じて自分の考えを見直すことができる。

学習指導要領		都立大江戸高校 学カスタンダード
<p>伝 統 的 な 言 語 文 化 と 国 語 の 特 質 に 関 す る 事 項</p>	<p>ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p> <p>イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。</p>	<p>日本の伝統的な言語文化について基本的な事柄を知り、興味・関心を広げることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌の形態を知ることができる。 ・基本的な古典知識（月の異名、十二支など）を知ることができる。 <p>基本的な文語のきまり、訓読のきまりを理解して、音読や読解を行うことができる。 （但し、小中学校の指導領域について、未学習のもの、定着の見られないものに対して配慮する）</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣い、基本的な用言の活用、基本的な助動詞、係り結びなどを理解することができる。 ・訓点や基本的な再読文字・置き字・句法について理解し、訓読したり書き下し文に改めたりすることができる。 <p>語句・語彙の構造的な仕組みとしての成り立ちについて基本的な事柄を知り、日本語の表現の特徴や言語の役割に気づくことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熟語の構成における主従関係や、修飾・被修飾関係などを理解できる。 ・和語・漢語・外来語の区別ができ、効果の違いを理解できる。 ・歴史的仮名遣いを理解して古文を正しく読むことができる。 ・基本的な古今異義語（ありがたし、うつくし、をかしなど）の意味の違いを理解できる。

学習指導要領		都立大江戸高校 学カスタンダード
伝 統 的 な 言 語 文 化 と 国 語 の 特 質 に 関 す る 事 項	(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。 ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。	文の成分や文章の構成、語句の意味、用法及び表記の仕方などについて基本的な事柄を知り、活用することができる。 ≪具体的な設定例≫ ・比較的平易な文章を読み、全体の段落構成（起承転結）を理解する。 ・語句の意味についてわからないものは、辞書を使って意味を調べ、正しく意味を理解する。 ・現在日常的に使用されている熟語の文法構造を理解し、漢文訓読のように読むことができる。 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を文や文章の中で使うことができる。 ≪具体的な設定例≫ ・段階的に設定した漢字テストを毎週行い、日本漢字能力検定4級程度の漢字について、読んだり書いたりすることができる。